

あすという日が 合唱団パリンカ石巻公演

合唱団パリンカ常任指揮者 千葉敏行

石巻で演奏会をしなければとずっと思っていました。二つのホールが津波で失われ、かえって石巻のみなさんにご迷惑をかけてしまう...と躊躇してきました。自分たちの自己満足に終わらない「復興支援」とは何かを考え続けてきました。

石巻市は宮城県第二の人口の港町で、東日本大震災の津波によって甚大な被害を受け、3,277名もの命が奪われました。私たちの合唱仲間や知人・親戚も大きな被害を受けた町でした。

ここ数年、斎藤栄一団長の交友関係と努力により、合唱団パリンカ定期演奏会プログラムに石巻の企業から広告を頂戴するようになってきました。「石巻で演奏会をしなければ」という思い、「石巻に恩返しをしなければ」という思いが加わってきました。

2021年4月に「マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設」が開館しました。石巻市に10年ぶりに再建された大型文化施設です。大小2つのホールや展示室、活動室、研修室、創作室、和室など、多くの機能を有する複合文化施設のまきあーとテラスは、家形や煙突形の建物が横一列に並んでいるように見える、地上4階建ての真っ白な建物。文化施設であると同時に、復興のシンボルとして市の新しいランドマークとなっています。

この施設の完成を契機に今回のパリンカのプロジェクトがスタートし、「心の復興 うたの復興」を掲げ、コロナ禍で失われた合唱の復興を目指して地元合唱団

との交流を目的に実施する運びとなりました。

石巻メンネルコールのみなさんとともに歌った「斉太郎節」は、いつもとは一味違う、魂のこもった歌となりました。そして、石巻のみなさんとともに、「あすという日が」「大地讃頌」を演奏できたのは、意義深く、感銘深いものとなりました。

約700名ものお客様にご来場いただき、「震災後合唱を聴くということはありませんでした。今回知人に誘われてこの機会を得て心がすっきりしました。」「こんなに柔らかくてあったかい歌声、雰囲気感動しました。何度も目頭を抑えました。」「最後の『大地讃頌』は、石巻中に響けという気持ちで聞いていました。」「客席で聞かせていただきました。パリンカや石巻の合唱団の皆様の声を聞いて改めて、人の声の集合体の素晴らしさを再確認しました。ありがとうございました。」といった、ありがたい感想もいただきました。



合同合唱に参加した方の中には、親族知人を震災で亡くした方が少なくありません。また、津波で合唱楽譜やステージコスチュームを流された方もいます。コロナ禍で活動を停止した団もありましたが、パリンカとの合同合唱を契機に活動を再開した、ステージをいただいたことに感謝しているとのことでした。後日、地元紙「石巻かほく新報」や「石巻日日新聞」に「合唱団パリンカ石巻公演 優しくも力強い歌声～地元合唱団とコラボ」などと大きく取り上げていただきました。

東日本大震災によって、私たちは歌の力、音楽の力を実感し、歌によってつながることの喜びを味わい、頑張ることができました。しかし、コロナ禍に入り、



訪れること、つながること、そして「歌うこと」ができなかった。今年に入り、様々なイベントなどに「3年ぶり」という形容詞が付くようになりました。できるようになったこともあれば、まだできないことも少なくありません。

石巻のみなさんとの合唱を通して「つながる」ことはやはり素晴らしい、感動的なのだと感じることができました。そして、この「つながり」が新たな「つながり」を生み出し、新しい文化を産み出すのではないかと。あの壊滅的な震災の中からも新たな出会いと文化が生まれたように。

今回のプロジェクトは合唱団パリンカ始まって以来の大プロジェクトでした。斎藤団長の熱い思いと山田実行委員長の緻密な作戦、何よりも石巻のみなさんの絶大なご協力のおかげをもちまして大成功の裡に幕を下ろすことができました。心より感謝申し上げます。

Palinka

楽しくてカッコいい 心に染みるハーモニー

合唱団パリンカ石巻公演

心の復興 うたの復興

後援団体(青森県民謡) 倉次鉄造(北沢康天保) 石巻市立南材木町小学校南
あすという日が「石巻」を創る「セロナーチ」のハーモニー
キラキラ・生まれ変わる石巻を心から応援したいと、呼びたい公共イメージ

後援団体 石巻市合唱団 石巻メンキョーカル 女声合唱団 和ぐハーモニー Eikyokuのハーモニー
おがつオ リンクコーラス ココロの絆 ショーゴのハートランド スズキコーラの合唱団 Palinkaのハーモニー

ソプラノ 鈴木真衣

2022年10月30日(日) 13:00 開場 13:45 開演
マルホンまきあーとテラス 石巻市芸術文化センター 大ホール

主催 合唱団パリンカ
企画 斎藤勇 公益財団法人法人文化財団 一般社団法人 Palinka Project
協力 石巻市文化振興局(公財)石巻市芸術文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局
石巻市文化振興局(公財)石巻市芸術文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局
石巻市文化振興局(公財)石巻市芸術文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局
石巻市文化振興局(公財)石巻市芸術文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局 石巻市文化振興局

会場 石巻市芸術文化センター 大ホール
〒985-0101 石巻市南材木町1-1-1
TEL: 0225-2261111 FAX: 0225-2261112

入場券 ¥1,000 全席指定
①事前申し込みでご予約いただけます。ご希望の方に入場整理券をお送りいたしますのでメールで必要数量と送料をご連絡ください。
②お問い合わせ 電話 022-2261111 (受付時間) TEL: 022-2261111 ●ホームページ <http://palinka.miyagi-nara.jp/>

Palinka

QRコード

次は、三重県文化会館大ホールの第75回全日本合唱コンクール全国大会。
石巻での思いを胸に、楽しい演奏をしたいと思います。



千葉敏行 プロフィール

宮城県涌谷町出身。東北学院大学卒業。在学中グリークラブ学生指揮者を務める1990年「けやきの会」(音楽監督 田中信昭氏)で学んでいた仙台市の大学合唱団のメンバーやOBなどに呼びかけ、合唱団パリンカを創団した。

全日本合唱コンクール全国大会に3度出場、金賞、銀賞を受賞。三善晃氏のオペラ支倉常長「遠い帆」の初演・再演の合唱指導に携わった。女声合唱団「和ぐ」を指揮して、おかあさんコーラス全国大会に3度出場。コロナ禍における合唱活動の様子は NHK 総合「あなたの一步、教えてください」「ウィークエンド東北」で紹介され、大きな反響を呼んだ。

現在、合唱団パリンカ常任指揮者、女声合唱団「和ぐ」、仙台市立南材木町小学校南の星合唱団指揮者。宮城県合唱連盟常任理事。Facebook 公開グループ「ポストコロナの合唱を考えよう」管理人。